

2025 年 4 月 17 日
佐竹マルチミクス株式会社

京都大学医学部附属病院「iPS 細胞由来膵島細胞シート移植に関する医師主導治験」 における当社培養装置の活用について

2025 年 4 月 15 日、京都大学医学部附属病院より、「iPS 細胞由来膵島細胞シート移植に関する医師主導治験」において 1 型糖尿病の第一症例目の治験参加者に対し、同種 iPS 細胞由来膵島細胞シート (OZTx-410) の移植を行い、経過も良好である旨が発表されました。

また同日、オリヅルセラピューティクス株式会社（本社：神奈川県藤沢市、代表取締役社長：野中健史 以下 OZTx 社）より、この治験へ製品 OZTx-410 を提供したことが発表されました。

佐竹マルチミクス株式会社（埼玉県戸田市 代表取締役社長 西岡光利 以下当社）は、OZTx 社と共同で新規細胞治療法開発を目的とした連続培養システムの開発を進め、2022 年に S-RACMO 株式会社（本社：大阪府吹田市、代表取締役社長：土田敦之）へ高効率連続培養シングルユースシステム（VMF-SUB/TCS システム）・実生産設備への導入を果たしました。

今回の OZTx 社製品 OZTx-410 の製造プロセスには、これら当社が OZTx 社と共同開発した実生産設備が活用されておりますので、引用の上お知らせさせていただきます。

----- 【下記、オリヅルセラピューティクス株式会社発表より引用】 -----

本治験製品は、公益財団法人京都大学 iPS 細胞研究財団で確立された iPS 細胞ストックを原材料として用いております。また、その製造プロセスにおいて、佐竹マルチミクス株式会社（本社：埼玉県戸田市、代表取締役社長：西岡光利）と共同開発した、膵島細胞を安定的かつ大量に培養できる高効率連続培養シングルユースシステムと、東洋製罐グループホールディングス株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：大塚一男）と開発した、均一な膵島様細胞凝集塊の大規模生産を可能にするウェルバッグが活用されています。また、本治験製品は、S-RACMO 株式会社（本社：大阪府吹田市、代表取締役社長：土田敦之）にて製造されています。

詳細はそれぞれの機関のニュースリリースをご参照ください。

京都大学医学部附属病院 <https://www.kuhp.kyoto-u.ac.jp/press/20250415.html>

オリヅルセラピューティクス株式会社 <https://orizuru-therapeutics.com/newsroom/20250415491/>

当社は今後も高効率の装置開発に努め、研究機関・大学・企業の方々と連携を行い、技術の社会への実装に貢献してまいります。

【お問合せ先】 佐竹マルチミクス株式会社
〒335-0021 埼玉県戸田市新曽 66
Email : info@satake.co.jp

SATAKE
MultiMix